



認知症にやさしい 図書館づくり



「認知症にやさしい図書館づくりガイドライン」を
一緒に作りませんか？

高齢者の約4人に1人が認知症の人またはその予備群とされ、
今後もさらに増加すると予測されています。

認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、
認知症の人を単に「支えられる側」と考えるのではなく、
認知症の人が住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らすことが
できる、持続可能な社会(認知症にやさしい社会)の
実現が目指されています。

このワークショップでは、認知症にやさしい社会の実現に向けた
図書館のための手引き「認知症にやさしい図書館づくりガイドライン」
を参加者のみなさんとともに考え、作りたいと考えています。

日時 2017年 3月13日(月)

13:30~17:00

場所 筑波大学 東京キャンパス
文京校舎130講義室

- 講演：超高齢社会における図書館
溝上智恵子(筑波大学図書館情報メディア研究科長/
図書館情報メディア系教授)
- 対談
行政 vs 図書館：Win-Winの関係を築くには
話し手／角野孝一(川崎市地域包括ケア推進室)
舟田 彰(川崎市立宮前図書館)
聞き手／呑海沙織(筑波大学図書館情報メディア系/
知的コミュニティ基盤研究センター教授)
- 講演：認知症にやさしい図書館づくりに向けて
呑海沙織
- ワークショップ：
認知症にやさしい図書館づくりガイドライン

Access Map



東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅「出口1」より 徒歩2分程度

申込方法

下記にアクセスして事前申込をお願いします。
なお、当日参加も可能です。
<http://www.kc.tsukuba.ac.jp/lecture/symposium/2017d.html>



お問い合わせ

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2
筑波大学 知的コミュニティ基盤研究センター
TEL.029-859-1524